

技術提案書作成説明書

段階的選抜方式版

令和 8 年 4 月版

東日本高速道路株式会社
東北支社

技術提案書作成説明書

この技術提案書作成説明書（技術提案書様式）は、落札者の決定方法が「総合評価落札方式（技術提案評価型又は高度技術提案型）」の「段階的選抜方式」場合で、一次審査にて選抜された競争参加者に対し提出を求める技術提案書の作成方法を示すものである。

1. 技術提案書の提出

入札者は、入札公告（説明書）の「技術評価項目及び技術評価基準」に示す評価項目に対する技術提案の有無に応じて、下表に示す技術提案書を作成し入札公告（説明書）に示す提出期限日までに提出を行うこと。

なお、技術提案書の提出に併せ、提案内容を補足するための資料（以下「添付資料」という。）を提出することができる。

様式 番号	様式 名称	作成 ファイル名	作成 サイズ	ファイル 形式
技術提案書 様式 1	技術提案意思確認書	技術提案書_（会社名）	A4 版	PDF
技術提案書 様式 2	技術提案書			
技術提案書 様式 3	技術提案概要書			

※技術提案書様式 3 は高度技術提案型のみ作成するものとし、技術提案評価型においては不要である。

2. 技術提案書の作成

入札者は、入札公告（説明書）の「技術評価項目及び技術評価基準」に示す評価項目に対する技術提案の有無に応じて、下記の様式により技術提案書を作成することとする。

入札者が技術提案を行う範囲	提出様式
① 評価項目に対し全て技術提案を行う場合	・「技術提案書様式 1」 ・評価項目毎の「技術提案書様式 2」 ・「技術提案書様式 3」 ※高度技術提案型のみ
② 評価項目に対し技術提案を行う評価項目と技術提案を行わない評価項目が混在する場合	・「技術提案書様式 1」 ・技術提案を行う評価項目の「技術提案書様式 2」 ・「技術提案書様式 3」 ※高度技術提案型のみ
③ 評価項目に対し全て技術提案を行わない場合	「技術提案書様式 1」

【高度技術提案型の場合】

上記①～③のすべての場合において、上記表に示す資料の他、共通事項の要求性能を満たす工程表（様式自由）を作成するものとする。用紙サイズ、枚数等は入札公告（説明書）又は技術提案様式の参考：工程表様式例に示すとおりである。

3. 技術提案書の記載上の注意事項及び添付資料

各項目に係る記載事項及び添付書類は下表のとおりである。

(1) 技術提案意思確認書（技術提案書様式 1）

	注意事項
記載上の注意事項	①入札者より本様式の提出がない場合又は記載内容に不備がある場合は、技術提案書の提出がないものとして扱い、この場合、当該入札者は入札に参加することができないものとする。
	②求める評価項目ごとに、技術提案を行う意思の「有・無」及び提出した技術提案が不採用となった場合の標準案による施工意思の「有・無」を記載すること。
	③上記において、標準案による施工意思を「無」と記載した技術提案が不採用となった場合、入札者は入札に参加することができないものとする。

(2) 技術提案書（技術提案書様式 2）、技術提案概要書（技術提案書様式 3）

※技術提案概要書（技術提案書様式 3）は高度技術提案型のみ作成するものとし、技術提案評価型においては不要である。

	注意事項
記載上の注意事項	①技術提案は技術提案書様式 2 に記載すること
	②入札公告（説明書）の「技術評価項目及び技術評価基準」に従い作成すること。
	③求める評価項目に対する記載内容の全て又は一部が、次のいずれかに該当する場合は、当該技術提案は不採用とする。 《不採用となる事象》 ・当該工事の設計図書に適合しない場合 ・関連法令に抵触する内容である場合 ・当該工事で採用できない場合 ・長時間労働やパーティー数の増強等、労働力に依存する提案である場合 ・【一次審査評価項目「技術提案書作成にあたっての着目点」の評価対象とする評価項目のみ対象】一次審査評価項目「技術提案書作成にあたっての着目点」を踏まえた記載内容ではない場合 ・一次審査評価項目「カーボンニュートラルへの取り組み」で取り組む内容を記載した場合
	④添付資料の内容は技術評価の対象としない。また、添付資料を参照しなければ当該技術提案の評価が出来ない場合は、当該技術提案を不採用とする。
	⑤添付資料を参照しなければ当該技術提案の評価が出来ない場合は、当該技術提案を不採用とする。
	⑤設計図書において「設計図書の変更及び追加」が示されている場合、これらに関する技術提案は評価対象としない。
	⑥「施工実績」には「2. 施工方法及び改善効果」に記載した提案のうち主たる技術提案の実績を 1 つ記載する。主たる技術提案とは、最も重要な技術提案であると競争参加者が判断したものをいう。下記に示す①、②においてどちらかを優位に評価することはないが、①の実績を有している場合はその内容を記載すること。①の実績がない場合は②の実績を記載すること。 ①競争参加者が受注し（J V の場合も可）施工中の工事实績、他社実績で構成されている場合、又は工事以外の実績（NETIS 登録技術含む） ②：競争参加者が受注し（J V の場合も可）しゅん功及び受渡が完了している工事
	⑦改善技術提案書を提出する場合は、技術提案書様式 2 と必要がある場合は添付資料を添えて提出すること。添付資料のみの提出やその修正は認めない。

添 付 資 料	<p>【高度技術提案型の場合】</p> <p>① 求める共通項目、又は評価項目ごとに、技術提案の記載内容の確認のため、資料（施工状況写真、事例図面、カタログ抜粋等）を添付することができる。添付資料の用紙サイズ、枚数等は入札公告（説明書）又は技術提案様式 2、又は 3 に示すとおりである。</p> <p>② 求める共通項目、又は評価項目に対し添付資料が添付可能枚数を超えて提出された場合、添付資料の添付順に添付可能枚数までを評価に用いる。</p>
	<p>【技術提案評価型の場合】</p> <p>① 求める評価項目ごとに、技術提案の記載内容の確認のため、資料（施工状況写真、事例図面、カタログ抜粋等）を添付することができる。添付資料の用紙サイズ、枚数等は入札公告（説明書）又は技術提案様式 2 に示すとおりである。</p> <p>② 求める評価項目に対し添付資料が添付可能枚数を超えて提出された場合、添付資料の添付順に 1 頁のみを評価に用いることとする。</p>
	<p>【高度技術提案型・技術提案型共通】</p> <p>③技術提案の記載内容と添付資料に齟齬がある場合、添付資料は評価に用いない。</p>

以 上